

松竹大歌舞伎

二 汐 しほ
 一 玩辞楼 つちやちから
 土屋主税 つちやちから
 一 幕二場
 長明囃子連中

中村 鴈治郎

上村 吉弥

中村 亀鶴



中村 寿治郎



上村 吉太朗



嵐橋 三郎

9月21日(木) 開場 13:15 開演 14:00

[入場料(税込)] 指定席 7,000円・自由席 5,000円

※未就学児入場不可(有料託児サービスあり。申込メ切:9月11日(月)まで)

主催: さいき城山桜ホール運営委員会

会場 **さいき城山桜ホール 大ホール**

チケット
発売日

●車椅子席優先販売… 6月4日(日)~10日(土)
※車椅子席優先販売は、さいき城山桜ホール窓口のみ取扱い。

●一般販売 …… 6月11日(日) 9:00~

販売窓口

●さいき城山桜ホール窓口 販売時間 9:00~21:00
(休館日: 毎月第2・第4火曜日)

●チケット Web 松竹
<https://www1.ticket-web-shochiku.com/t/>

お問い
合わせ

さいき城山桜ホール
TEL 0972-24-2228

<同時解説イヤホンガイド>
歌舞伎の舞台の進行に合わせて
わかりやすく解説いたします。

当日場内
ロビーでお貸出
ご使用料 800円

松竹大歌舞伎

令和五年度
（公社）全国公立文化施設協会 主催
西コース

製作
松竹



かみむらさちや 上村吉弥 あらしきつさぶろう 嵐橋三郎 なかむらじろう 中村寿治郎 かみむらさち たろう 上村吉太郎 なかむら きかく 中村亀鶴 なかむらがん じろう 中村鴈治郎

渡辺霞亭 作
一、十二曲の内
土屋主税

一幕二場

土屋主税 大高源吾 お高源吾 西川頼母 晋其角
中村鴈治郎 中村亀鶴 中村吉太郎 中村寿治郎 嵐橋三郎

二、汐

汲

長唄囃子連中

蜚女薨藻 此兵衛 中上村吉弥 中上村吉弥 中上村吉弥

赤穂浪士の一人である大高源吾が、西国の大名家へ仕官することが決まったと俳諧師の其角の家に別れの挨拶にやってきました。其角は饒別として「年の瀬や水の流れも人の身も」という句を贈り、源吾はそれに「あした待たるるその宝船」と附け句をしてその場を立ち去ります。其角は、源吾が附けた下句は仕官を喜んだ句であると考え、亡君への恩を忘れたのかと源吾の変節に立腹しますが、この一件を聞いた土屋主税は、討ち入りを暗示した句であると読み解きません。やがて隣家の吉良邸内から刃を交える音が聞こえてくると、主税は喜び、要所に高張提灯を灯させて、陰ながら浪士たちを援助するのでした。

明治四十（一九〇七）年十月に大阪の角座で初演された、渡辺霞亭作の忠臣蔵の外伝物。俳諧を巧みに織り交ぜながら、討ち入りを待ち望む主税の心情を描いた、上方歌舞伎の代表的な名跡である中村鴈治郎家のお家芸「玩辞楼十二曲」の一つに数えられる名作です。

時は平安時代。帝の逆鱗に触れ、須磨に流された在原行平は、松風と村雨という姉妹の蜚女を寵愛し、帝に罪を赦され都へ戻る際に自らの烏帽子と狩衣を形見として与えました。その浜辺にやって来た蜚女の薨藻は、汐汲桶に映る月影に、会うことの叶わない恋人への思いを馳せて舞を舞い始めます。そこへ、薨藻に思いを寄せる漁師の此兵衛が現れますが、薨藻は此兵衛をあしらいながら去っていくのでした。

女方の舞踊の中でも屈指の人気曲のひとつであるこの作品は、在原行平が土地の蜚女と歌を交わしたという説話を基に、「古今和歌集」の行平が詠んだ短歌などが影響を及ぼして生まれた謡曲の「松風」が題材になっています。松風は幽玄能の中でも屈指の名作で、歌舞伎や浄瑠璃に大きな影響を与え、それらの作品の素材ともなりました。今回の「汐汲」もそのひとつで、薨藻の悲しくもまた初心な恋心や、此兵衛との駆け引きを舞踊仕立てて描き出しています。古風な情緒溢れる歌舞伎舞踊をじっくりとお楽しみください。

◆公演日程 ※公文協主催公演

※ 8/31 木 神奈川県横浜市中区 よこすか芸術劇場	※ 9 (土) 広島県呉市 呉信用金庫ホール	※ 16 (土) 神奈川県相模原市 相模女子大学グリーンホール
9/1 金 神奈川県横浜市 桐蔭学園シンフォニーホール	※ 10 (日) 島根県益田市 島根県芸術文化センター「グラントワ」	※ 18 (月) 岐阜県岐阜市 岐阜市民会館
※ 3 (日) 福島県いわき市 いわき芸術文化交流館アリオス	※ 11 月 香川県丸亀市 丸亀市緑歌総合文化会館(アイレックス)	20 水 岡山県岡山市 岡山芸術創造劇場ハレノワ
※ 5 火 静岡県浜松市 アクトシティ浜松	※ 12 火 徳島県徳島市 あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)	※ 21 木 大分県佐伯市 さいき城山桜ホール
※ 6 水 三重県津市 三重県文化会館	※ 14 木 神奈川県藤沢市 藤沢市民会館	※ 24 (日) 沖縄県那覇市 那覇文化芸術劇場なはーと
※ 7 木 大阪府岸和田市 南海浪切ホール(岸和田市立浪切ホール)	※ 15 金 東京都板橋区 板橋区立文化会館 大ホール	